

学校評価の結果について (令和7年度)

学校法人旭川カトリック学園 砂川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

学校教育法に準じながら、教育の根底をキリストの教えにおき、カトリック的な人間観に基づき日々の生活の中で、真理を求め、人を愛することに喜びを感じる心を育てることにある。人格形成の最も大切な幼児期に <お祈り・親切・がまん> をモットーに、祈る心、愛する心、ありがとうの心が育つことを願い、幼児にふさわしい環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としている

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

2017年度から新制度の施設型給付幼稚園に移行し、園児減少のため昨年から75名の利用定員に変更となった。少子化にある中で、更に個々の子どもの個性や特性を見極めそれぞれに合った保育を行うようにしていく。また、教職員がそれぞれの良さを認め合い保育観を高め子どものより良い成長のために、引き続き本園のカトリック教育の根本である心の教育に努めながら「幼児期に育ってほしい10の姿」を目標と共に将来に渡る「生きる力」の教育を、教職員一致した方向性で取り組んでいく。更に、保護者との日頃の子どもの関わる連絡等を丁寧に行うようにし、共に子どもの成長のためにより一層信頼関係を深め、幼稚園と保護者が一体となって運営できるように進めていく。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1. 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園の教育理念・教育目標の再確認を行いながら、行事や保育のあり方など職員会議や学年ごとで話し合い保育計画を行っている。少子化と共に子どもの在り方を見直しながら通常の保育や行事の行い方を考慮してきたが、次年度も引き続き少数でも楽しめると共に他学年とも関われる保育計画を行う必要がある。
2. 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none">園舎内外の安全には十分留意し職員全員で状況把握し危険が及ぶぬよう配慮しているが、特に園庭遊具全般的に老朽化が進み可能な限り用務員により補修を行っているが中々難しい状況である。今年度は熊出没により、例年通り戸外での活動が難しい状況が続いた。職員全員が共通理解のもと園児ひとり一人の様子を把握し、教師間連絡を密にし担任以外の園児にも愛情をもって対応している。子育て支援の親子登園「ひよこルーム」をインスタ等で紹介し、新規の参加者を募るよう努めている。
3. 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none">組織の一員として自分の思いを伝えると共に他の教職員の意見を聞き、職員全員が一つのチームであることを自覚している。保育者としての意識と自覚と責任をもった言動で園児や保護者に接すると共に、子どもの心を大切に話をよく聞き、園児一人一人との信頼関係を築き園児の成長に繋げている。
4. 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	<ul style="list-style-type: none">子どもの変化の様子や個人的な相談や連絡にも電話や手紙等での日に対応するようにし信頼関係を築くようにしている。また、父母会活動が無いので今後も必要に応じて保護者との関りを丁寧に行っていく。保護者からの相談や要望には職員会議等で提示し話し合いのもと保護者のニーズを把握し真摯に対応するよう心掛けている。また母親の就労により、引き続き今後も様々なことを考慮していく必要がある。
5. 地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域解放の努力をする。	<ul style="list-style-type: none">感染症で中止になっていた老人ホーム慰問が数年ぶりに行うことができ園児と高齢者の交流が良い経験になった。また今年度最後となった砂小5年生との交流は楽しく行なう事が出来た。小学校生活がスムーズになるように進学児の引き継ぎは各小学校と行っている。

<p>6. 研修と研究 研修・研究を積極的にを行い、専門性を高め、努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の参加はリモートがほとんどで、実践的な研修には中々参加ができなかった。また、例年参加している北私幼の研修は行事前で参加できなかった。 ・研修後はレポート提出により、より内容を理解し深め保育に生かしていくようにしている。
<p>7. 情報公開 保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で公開する努力をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園だより、クラスだより、地方新聞掲載、またInstagram配信をよりこまめに行い、行事のみならず日頃の子どもの園内活動を保護者にお知らせしている。また、学校評価結果においてもホームページ、園内閲覧で公表している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より園児数が多い中で、補助職員数の不足等で行事での職員の配置やクラス補助が必要な際に苦慮があった。また、子ども達の様々な個性を活かしながらの保育に取り組みつつも、今後更に職員自ら保育を見直し必要な研修を受け自己研鑽にあたるように努力する。引き続き保護者による学校関係者評価で得られた結果をもとに、賛同を得ているところはさらに深め、改善点や要望に関しては真摯に受けとめ考慮していく。 ・変化していく社会情勢の中で、常にカトリック幼稚園としての心の教育を根本としながら、求められていることを考慮しつつ子ども達の「生きる力」を育むために保護者と共に子どものより良い成長のために尽力していく。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急災害時の具体的な対策 ・防災用具の常備 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月交互に行っている火災地震避難訓練は、毎回同じような状況での訓練になっているので、様々な状況や場面でも安全に避難できる訓練を行う必要がある。また防犯カメラ・防犯ドア設置を考慮している。 ・引き続き ICT のアプリを活用した園児出欠確認と GPS でのバス位置情報を活用し、災害時にもアプリを活用して早急に保護者と連絡が取れるようにしていく。
<p>地域社会との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との連携 ・子育て支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・砂川市が令和 8 年度から小中一貫校の砂川学園に移行し全ての子ども達と同じ学校になることから、学校との連携を取り子ども達の学びがスムーズに行くように学校へも理解を求めていく。また引き続き、入園前の未就園児や保護者に対しての子育て支援（ひよこルーム、園庭開放等）について、インスタやホームページを通じて子育ての場として機能的・開放的に利用できる場として発信していく。・子育て支援として、子どもだけではなく保護者が気軽に相談できる場としての幼稚園であるように努める。
<p>教員の研修と園内研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中で研修を受けることが難しい状況ではあるが、交代で個々に必要研修を受け、得た研修内容を園内研修を通じ共通理解しそれぞれの保育の場に活かせるよう自己研鑽に努めていく。また引き続き保護者の気持ちに寄り添い連絡を取りながら、幼稚園や教職員を信頼してもらえるように保育者としての資質と技術の向上を目指していく。

6. 学校関係者の評価

<p>今年度も保護者全員に学校評価アンケートをお願いした。幼稚園の運営、教育については、月便りで教育目標を伝えながらキリスト教精神に基づいた心の教育を行っていることにほぼ全員の賛同を得た。幼稚園の機能としては若干環境設備の不備や定期的な話し合いの場が少ないとの回答だった。また、行事に関しては、両親とも就労している家庭が多くなり行事参加について見直しが必要と感じた。アンケートを通して行事の内容や会場、給食メニュー、コドモン連絡のタイミングなど様々な意見や要望がある中で、可能な限り返答し今後検討し改善できる所を見直すように取り組んでいく。また、多くの感謝の言葉もいただき今後も更に子どものより良い成長のために職員一同尽力していきたいと考える。</p>
--

7. 財務状況

<p>大手監査法人である太陽 ASG 有限責任監査法人（東京）の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により効率的な運営に努めている。</p>
